

令和5年2月1日発行

# レオ通信

第148号

発行者 レオグループ



## 感染予防にもうしばらくご協力ください

兵庫県も新型コロナウイルス感染拡大（オミクロン株）より医療体制が逼迫し、入院出来ないケースが出ており、介護施設にて複数クラスター報告がありますので、もうしばらく不要不急の来所をお控え頂きますようお願い申し上げます。

また、5月には新型コロナウイルス感染症が第五類に引き下げとなります、都道府県の情報共有をしながら、混乱しない様に対応を検討する予定でございます。

詳しい内容が分かり次第ご報告させていただきます。ご協力の程宜しくお願い致します。

この度、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

春が待ちどろしい季節ですが、まだまだ、寒さも厳しい時期です、感染予防し体調を崩されません様、感染予防や体調管理して頂き、お元気でお過ごしください。



## スタッフの声 -第9回-

### ぬくもりの家 加古川南 福本千賀子 スタッフ

はじめまして、「ぬくもりの家加古川南」に勤務しています福本千賀子です。

わたしが介護の仕事をするきっかけになったのは、母が祖父母のお世話を楽しそうにしているのを見ていたからと、祖父母と一緒に生活していてこの環境がとても居心地が良かったから、10年前に介護の世界に入りました。地域密着型デイサービスやグループホームで努めました。

しかし「サービス付き高齢者向け住宅」が気になりここに入社しました。

ここでの仕事は毎日同じことの繰り返しですが日によって入居者様の体調が悪かったりすると他のスタッフと相談して良い案を出し合ったりし日々楽しく仕事をしています。

でも与えられた仕事をするだけでなくもっと介護の知識を勉強し入居者様の力になりたいと思い介護福祉士の免許を取得しました。

色々な知識を得ることが出来ましたは何より自身がつきました。

これからは、入居者様お一人お一人に合う介護・楽しく安心して生活して頂ける様な寄り添った介護を目指していきます。

今後ともよろしく願いいたします。

## 小倉常務のコラムコラム - 「運命」 -

先日何年かぶりに京都へ行ってきました。今回京都へ行ったのは八ツ橋や名所めぐりが目的ではなくて、どうしても行きたいお店があったからです。河原町の路地の中にあるお店で知っている方もいるかも知れませんが、そこの焼き芋がめちゃくちゃ美味しいのです。うちのある事業所の所長が兵庫にある別の焼き芋の美味しい店の話をしてくれて、家に帰ってそういえばと思い出したお店が今回行ったお店です。初めて食べたのは小学校ぐらいなので30年ぐらい前ですが、子供の頃何度も食べた家族の思い出のお店です。小さなお店で一日3回、1回に10本（昔は20本でした）しか焼かず数量も限定してないので、前の人がたくさん買うと次の人は一時間待たないと買うことができない貴重な焼き芋でした。こだわりもすごくて、お持ち帰りの人しか買えません。店主さんにいまから食べるの？とか聞かれるので、知らない人が「出来たてだから今から食べます」というと「じゃあ売れません」と言われます。これは食べ歩きがダメだからではなく、この焼き芋、時間が経てば経つほど美味しくなり、1週間・2週間と経つとすごく甘みがありますのでそういう状態で食べてもらいたいとのことだそうです。そんな焼き芋屋さん、まだやっているかなあと調べてみると、今年の3月で辞めるらしいとわかり、これは行くしかないと急遽一路京都へ行くことになりました。何人か並んでいましたが運良く買うことができました。これが最後かと思うとなんだか寂しくて食べる日がどんどん後になりそうです。



## 「編集後記」

今年も早1月終わりました。2月4日は立春です。暦の上では春とはいえ、まだまだ寒い季節です。季節性インフルエンザやノロウイルスなど例年この時期に流行るようなウイルスも1~2月がピークといわれています。ウイルス対策ばかりで辟易してしまいそうですが、もうしばらく手洗い・うがいなど基本に忠実に、健康に気を付けて参りましょう。